

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 大阪府立北淀高等学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒 533-0013  
大阪市東淀川区豊里 2-11-35

E-mail : asp@kitayodo.osaka-c.ed.jp

Website : http://www.osaka-c.ed.jp/kitayodo/

児童生徒数：男子 337 名 女子 419 名 合計 756 名  
 児童・生徒の年齢 15 歳 ~ 18 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

## ○留学生との交流から学ぶ（第2学年）

1. 実施期間：2013年10月17日、24日、11月7日
2. 実施形態：プロジェクトFC（総合的な学習の時間）
3. 目的・目標
  - ①留学生との出会い・交流を通して、文化の異なる人々と直に触れ合うことの喜びを体験し、また異文化への共感的理解を深める。
  - ②世界の事情を学び、国際社会に生きる自己を自覚する。
  - ③留学生との学びあいを通して、自己と他者のつながりや、社会の中での自分の価値とあり方について考える。
  - ④交流の企画、準備等を通して、能動的、積極的な態度を身につける。また、本学習を通して、将来の目標を前向きに考えるよう働きかける。
4. 他機関等との連携  
大阪大学、大阪経済大学、大阪学院大学、大阪成蹊大学・大阪府立大学
5. 概要
  - (1) 対象：第2学年（7クラス・約240名）
  - (2) 学習過程と内容
    - ①事前準備  
事前学習で、当日のプログラムの確認、役割分担、準備を行なった。まず、1クラスを一班6～8名程度の6グループに分けた。自己紹介の時に渡す名刺を作り、当日使用するカルタ、ウェルカムポスターなどを作り、留学生の人に聞きたい質問を考えた。それ以外にも、写真入りの留学生紹介ポスターを作成して各クラスに掲示し、交流に向けての雰囲気作りや生徒の意識の向上を図った。
    - ②留学生との交流  
1時間目は、名刺交換をしながら自己紹介をした後、カルタ取りのゲームを行った。最初に、事前に用意していたカルタの絵に合わせて、読み札と生徒のメモ用紙に留学生の母国語を入れた。覚える時間を取った後カルタ取りのゲームをした。言葉を教えてもらったりゲームをしたりする流れの中で、自然に打ち解けることができたと思う。  
2時間目は各班で、生徒と留学生の方がお互いの文化や日常生活について話し合った。留学生から自国の文化などについて、教えていただいたり、持参いただいた写真や衣装、本、お金などを見せていただいた。生徒からは事前に準備していた質問以外の質問も次々と飛び出し、逆に留学生の方からも質問があったりした。
    - ③放課後の交流会  
放課後に生徒会主催の交流会を実施した。和太鼓や剣道等の部活動を見ていただいたり、いっしょにクイズをしたり、歌を歌ったりした。

## ○ESDの授業について（第2学年）

1. 実施期間：2014年1月16日、23日
2. 実施形態：プロジェクトFC（総合的な学習の時間）
3. 目的・目標
  - ①ユネスコの活動をDVDやプリントを通して学び、理解する。
  - ②北淀高校がユネスコスクールであり、どんな活動をしているかを理解させる。
  - ③持続可能性を妨げている事象を身近なところから探し、どのようなふるまいをすればいいか考えさせる。
4. 概要
  - (1) 対象：2学年（7クラス・約240人）
  - (2) 学習過程と内容
    - ①1年次に学習した識字や貧困問題、日本の国際協力をふまえ、世界の諸課題やユネスコの活動を学んだ。また、ユネスコスクールやESDについても。学習した
    - ②「文部科学省国際協カイニシアティヴ事業」でアジア4カ国とともに作成した「ESD国際協カカリキュラム」を使用した。大気汚染、ゴミ問題、公共マナー等のパネ

ル写真や新聞記事をみて思うこと、感じたことをプリントに書かせた。そのあとグループに分け、話し合いをさせた。その後各グループの代表者が発表した。

- ③自分の身近なところにある同じような問題に気づかせ、持続可能性を阻害している原因とその解決方法について考えさせた。また、自分はどのようなことができるかについても考えさせた。

#### ○青年海外協力隊体験者による講演（第1学年）

1. 実施期間：2014年1月9, 16, 23, 27日(事前学習)、1月30日(5・6限 講演会)
2. 実施形態：プロジェクトFC（総合的な学習の時間）
3. 目的・目標
  - ①非識字や子どもの労働が大きな問題となっている世界の現状を学び、自分たちの生活を見直すと共に、世界とつながる自分を自覚し、それらと積極的に関わる姿勢を養う。
  - ②世界の文化の多様性を知り、また異文化への共感的理解を深める。
  - ③世界と日本のつながりを知り、日本の国際協力を学ぶ。
4. 他機関等との連携  
JICA, JOCA
5. 概要
  - (1) 対象：第1学年（7クラス・約270名）
  - (2) 学習過程と内容
    - ①事前学習として、識字（アニメ「ミナ笑顔」を使用）、貧困問題（児童労働）、国際協力や青年海外協力隊（JICA制作の映像を使用）についての学習を各1時間ずつ行った。
    - ②「青年海外協力隊帰国隊員（7名）による講演」：各クラスで実施。内容については、異文化を学ぶこと、世界にはさまざまな価値感があることを基本に、詳細に打ち合わせた。

#### ○大阪ユネスコスクールネットワークの活動について(ユネスコ部)

- ① ESD世界フォーラム準備セミナー [文部科学省 ユネスコパートナーシップ事業]
  - 第1回 5/12 大阪府立大学 i-site なんば
  - 第2回 6/9 大阪府立大学 i-site なんば
  - 第3回 7/14 岡山市中央公民館
  - 第4回 8/17~18 大阪府立大学 i-site なんば
  - 第5回 9/6 大阪府立大学 i-site なんば
  - 第6回 9/13 大阪府立大学 i-site なんば
  - アジア・太平洋地域 高校生ESD国際フォーラム 10/31~11/4 堺市産業振興センター
  - 第7回 1/13 大阪府立大学 i-site なんば
- ② 世界の食文化について  
海外にルーツのある部員もおり、さまざまな国の食文化について学び、調理体験もした。

#### ○他の本校の活動について

- ① 近隣の公園の清掃活動
- ② 特別支援学校との交流活動

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）